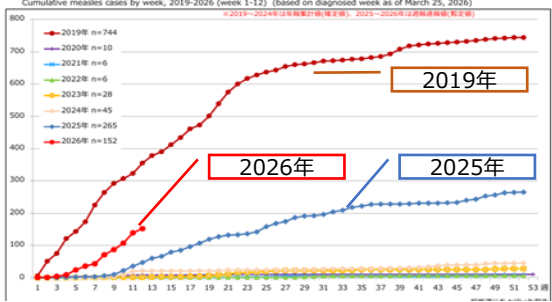




宮崎市 3/29 「はしか」感染者を確認 はしかに注意

国立健康危機管理研究機構によると、速報値ベースで2026年第11週（3月9日～3月15日）の麻疹（はしか）の報告数は総数32件で、累積報告数は139件となっています。前年の2025年第11週（3月10日～3月16日）は報告数12件、累積報告数32件であったことから、今年は前年を大きく上回るペースで報告が増えており、注意が必要な状況です。

1. 麻疹累積報告数の推移 2019～2026年（第1～12週）



診断週にもとづいた報告 感染症発生動向調査2026年3月25日現在

宮崎においても

- ◆ 3/29に「はしか」感染者が確認され、医療機関に「発熱」「咳」「目の充血」の症状がある患者さんには、事前連絡後の受診よびかけています
◆ また症状がでた3/21前後には、宮崎市の商業施設を訪れているためこの期間前後に同じ施設（ドン・キホーテ橋通り、ニトリモールなど）に行き、症状が出た場合も特に注意が必要です

どうしてそこまで...

麻疹（はしか）が怖ろしいのか...

感染様式 合併症

感染力

特効薬がない



抗体を持たない人が密接な環境で感染者に接触した場合約90%が感染するとの報告も

感染力

麻疹の感染力はインフルエンザの比ではない

Table comparing infection ranges and methods for Measles, Rubella, Mumps, and Chickenpox.

周囲の感受性者何人に感染させるか

!! 医療従事者の麻疹感染リスクは一般人と比較すると13倍も高い

感染様式

麻疹は空気感染

- 広い空間でも、空調が共通していると周囲の人間を感染させる
● カーテンのパーテーションでは意味をなさない

飛沫感染

水分に含まれてウイルスは浮遊（2～3秒後に蒸発）

1メートルくらいしか飛ばない

空気感染

飛沫核だけで

空気中を浮遊

水分が蒸発

感染者と同じ新幹線に乗り合わせた乗客が感染したことも

飛沫核は不織布マスクを通り抜ける

N95マスクの着用が必要

合併症

麻疹は死ぬかもしれない病気です。

「こどもの軽い病気」は間違い

麻疹は自然治癒が一般的ですが、「合併症」の頻度が高い病気です
合併症には肺炎、咽頭炎、中耳炎、胃腸炎などがあり中でも肺炎は麻疹の小児の死因として高頻度、また脳炎は成人の死亡原因として高頻度であり、回復しても中枢神経系後遺症を起こすことがあります

肺炎：全体の6%に認められる。

脳炎：1000例に0.5～1例で発症。致死率は15%、中枢神経系の後遺症は25%

SSPE（亜急性硬化性全脳炎）：麻疹ウイルスの持続的な感染が原因で起こる。長い潜伏期（4～8年）をおいて症状がでる。最終的な予後は悪い

特効薬がない

基本的には、発熱に対する解熱剤など症状に応じた治療を行う

予防策

手洗い、マスクでは予防はできない

最も有効な予防法は、麻疹含有ワクチンの接種

→約95%の人が麻疹ウイルスに対する免疫を獲得できる

ワクチン接種は2回接種で十分な免疫（抗体）※1が得られます

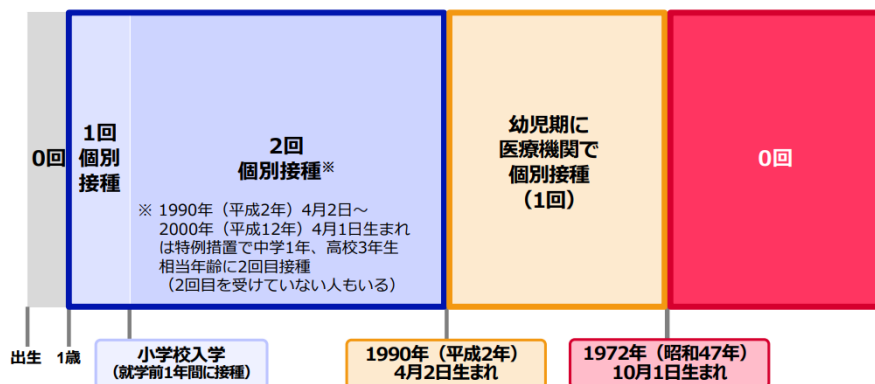
十分な免疫は、発症予防、感染しても症状が軽い、重症化予防、周囲への感染リスク軽減など最強の予防策となります

※1 十分な免疫（抗体）について

下記の定期予防接種の年齢を参考に1回または0回に該当する人、血液検査で抗体価が充分でない人（下記表参考）はワクチン接種をおすすめします

麻疹含有ワクチンの定期予防接種と年齢

1972年9月30日以前に生まれた方は定期接種の機会がありません。
任意接種としてMR（麻疹・風疹混合）ワクチン、麻疹ワクチンの接種が可能です。



疾患名	検査方法	あと2回の予防接種が必要	あと1回の予防接種が必要	今すぐの予防接種は不要
		(-)	(±) ~ (+)	(+)
麻疹（はしか）	EIA法-IgG	2.0未満	2.0～15.9	16.0以上
	NT法	4倍未満	4倍	8倍以上

参考：一般社団法人 日本環境感染学会 環境感染誌 医療関係者のためのワクチンガイドライン MMRV 抗体価と必要予防接種回数（予防接種の記録がない場合）